

会 議 録

会議の名称	第1回戸田市都市マスタープラン見直し検討委員会
開催日時	令和6年7月24日(水) 10:00~12:00
開催場所	戸田市役所 5階 501会議室
出席者氏名 (委員)	深堀清隆(委員長)、小嶋文(副委員長)、八木澤順治、渡辺一実、奥墨章、大野和則、市ヶ谷昌彦、大羽誠、松浦眞吾、多和田加奈子、土本茂規、芳賀良
欠席者氏名 (委員)	鈴木健史、藤田貢
事務局	【戸田市 都市整備部】 早川部長、山碕次長 【戸田市 都市整備部 都市計画課】 今泉課長、堀江主任、笠原技師、早間主事補 【セントラルコンサルタント株式会社】 小坂、中村、宝満
内 容	(1) 戸田市都市マスタープラン見直し検討委員会の役割について (2) 第3次戸田市都市マスタープランの計画体系・現状・課題について
会議結果	別紙(会議の経過)のとおり
会議の経過	別紙(会議の経過)のとおり
会議資料	・次第 ・資料1 戸田市都市マスタープラン見直し検討委員会要綱 ・資料2 戸田市都市マスタープラン推進委員会設置要綱 ・資料3 戸田市都市マスタープラン見直し検討委員会委員名簿 ・資料4 戸田市都市マスタープラン見直し検討委員会の役割について ・資料5 第3次戸田市都市マスタープラン 計画体系・現状・課題 ・資料6 第3次戸田市都市マスタープラン(資料編)
議事録確定	埼玉大学大学院 委員長 深堀 清隆

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<u>1 開会</u> (事務局開会挨拶) (資料及び議題の確認)
委員長	<u>2 委員長挨拶</u> (深堀委員長挨拶)
事務局 委員長	<u>3 議題</u> (1) 戸田市都市マスタープラン見直し検討委員会の役割について 議題(1)「第3次戸田市都市マスタープラン見直し検討委員会の役割について」を事務局より説明いただく。
事務局	(資料4に基づき、事務局より説明)
委員長	都市マスタープランと立地適正化計画の関係をどのように示すのか。 P.3「改定された関連計画との整合性の確保」に関して、防災指針は、策定から5年間経過した立地適正化計画の内容が見直されてできたものであり、それとほぼ時期が同じく都市マスタープランの検討に入っている。そういう場合は防災指針および立地適正化計画の内容を都市マスタープランに一部盛り込んでいくことが望ましいと見たことがある。 立地適正化計画の内容を都市マスタープランにどのように組み込むのか。
事務局	立地適正化計画については、まず都市マスタープランの現状と課題を整理し、次回の見直し検討委員会で全体構想の骨組みについて議論したいと思っている。そこで方向性が決まれば、今後スケジュールに入っていないが、来年度の委員会で立地適正化計画の見直しについて検討したいと考えている。 その内容と併せて、防災指針の内容も都市マスタープランの全体構想・地域

発言者	議題・発言内容・決定事項
	別構想の中に反映させていきたいと考えている。
委員長	5年経過した立地適正化計画の見直しをこれから行っていき、その見直しの結果を都市マスタープランの中に組み込むという考えでよいか。
事務局	その通り。都市マスタープランの改定に対して立地適正化計画の見直しを後追いで検討いくが、最終的に都市マスタープランが固まる前に立地適正化計画の見直しを反映させるように進めていく。
委員長	両計画の改定等を並行して進めるやり方もあるが、都市マスタープランでは立地適正化計画の居住誘導や都市機能誘導以外の問題について考えるやり方もあるのではないかと考えている。都市マスタープランと立地適正化計画の役割分担が当資料ではわかりにくいので今後明らかにしていくような形で整理ができるといいと思う。
事務局	承知した。具体的な検討は予算等の兼ね合いもあり、来年度で考えているが、できる限り既存の立地適正化計画の概要や今後の事務局で考えている方向性等を次回以降の都市マスタープランの議論で触れていきたい。
委員長	今後のスケジュールの中で市民との懇談会が1月に予定されているが、どの程度までの原案を市民に見せ、意見を聞けるかが気になる。 都市マスタープランをわかりやすく市民と共有するという部分について、スケジュールの中でも工夫をするとよいのではないか。
事務局	承知した。
委員長	議題（２）「第３次戸田市都市マスタープランの計画体系・現状・課題について」を事務局より説明いただく。

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	(資料5、6に基づき、事務局より説明)
委員	まず、P.1「社会情勢の変化への対応」で「テレワークや時差出勤など多様な働き方が進み」とあるが、感覚的にはこの傾向がわかるがバックデータは取っているのか。なければ取った方がよい。 例えば、戸田3駅の乗降率や交通機関の利用率、外国ではWi-Fiのデータを取る。あるいはアンケート調査、意向調査に交えてなど。 他の課題は裏付けがあるが、新しい事象のバックデータは対応ができてないように思われる。 次に、P.12「転入率・転出率」で若い世代の転入の話があったが、85歳以上の増加は高齢者施設の増設に起因するという理解で間違いないか。そうであれば、基本的に高齢者施設の整備は介護保険料の受益者負担で賄われていると思うが、市の財政に与える影響や大きな負担などがあるか見解を聞きたい。 最後に、P.14「再生可能エネルギー導入目標」は消費サイドの導入目標でないのか。資料編P.37「■モビリティ●交通GX」では再エネ地産地消というワードが入っているので、生産サイドにも目標を掲げているのか。
事務局	1つ目のバックデータについて、Wi-Fiや電車情報センターのバックデータを確認してない部分があったため、本日会議が終わり次第、早急に確認し、数値的な裏付けの取れるものを確認していく。 2つ目の高齢者施設と財政について、埼玉県は全国的に見ても高齢者施設の数が多し。また、住所地特例という制度があり、市外から戸田市の高齢者施設へ入居した場合は、転入前に住んでいた自治体を介護保険の保険者とする。この制度は高齢者施設が集中する市町村にかかる負担を分散する制度である。 3つ目の再生可能エネルギー導入目標について、現在戸田市の環境課で環境

発言者	議題・発言内容・決定事項
委員	基本計画を改定しており、その中で1万7500kWの再生エネルギーの導入目標を掲げている。具体的な施策は決められてないが、市で生産することは現実的に難しいため、事業者の施設に設備を導入して目標を達成していくことを想定している。 1つ目の質問について、戸田市内にある3駅の1日当たりの乗降客数がコロナ以前よりも減少しており、いまだ回復できない。市内を走るコミュニティバスについても、市内5路線のうち4路線の乗降客数がコロナ以前よりも回復していない。 新しい生活様式の中で会社に出勤をすることや、さいたま大宮の方に出勤する必要がないことが定着していると考えて記載している。 関連してP.1「新しい生活様式への対応」について、本計画は今後20年先を考えるものであるが、これは今の目先の状況である。例えばテレワークが増えているが、今後AIが進化すると、テレワークのような事務の机でやる仕事自体がなくなるのではないかと。そこら辺を踏まえた上で20年先を想像しないといけないのではないかと思う。 若い人たちが安心して暮らすためには、保育園、幼稚園、小学校、中学校の受け入れキャパシティが課題となる。今後、若い人が増えていき小学校を建設する用地がない状況でどう考えていくのか。そこを踏まえなければ、若い人を呼んだところで、市のキャパシティが厳しい状況になりかねないと考えている。 住工の混在は税収の面で考えた場合、市民に対する支出と事業者に対する支出は違ってくるため、お金のイン・アウトを考えた上で住居と工業のバランスをとる必要がある。住民増えて産業がなくなると赤字財政の市町村になりかねない。 ここ辺りまでのデータを持っていないと、都市計画マスタープランにおいての20年先は考えられないと思う。

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	学校に関して、埼京線が開通してから 30 年以上が経過する中で人口が倍に増え、既存の小学校 12 校・中学校 6 校ではキャパオーバーの状態である。一方で戸田市は既に市街化が進んでいたため、新たに学校を新設で作る土地がない。新曽の区画整理のエリアでは芦原小学校が平成 16 年にできたが、区画整理のない他の地域では新設校は作れないという中で、既存の学校の敷地に増築という形で児童生徒増のキャパシティに対応するということが近年行われており、建替・増築含め直近 5 年で 3 校程度の建設を行った。一方で増築は計画決定から設計、工事、供用開始までに少なくとも約 5 年にかかるという中で、戸田市では急激な人口増加を防ぐために「戸田市健全な教育環境確保のための住宅開発抑制に関する指導要綱」を令和元年度に作成し、ファミリー世帯の大型マンションの開発等を抑制することで急激な人口増加を防いでいる。一方で人口減少は食い止め、人口を維持していきたいという構想、方針もあるため、完全に住宅開発を抑制するということではなく、一時的な時間の猶予を作ることを目的に運用を行い現状に至る。その中で戸田市の出生率が減少し、人口増加がピークアウトするのではないかという状況がみえ、学校の児童生徒の増加率も直近やや落ち着いている。当面は現在着手している学校建設の方分に対応ができる。ただし、児童・生徒数が 500～1000 人近くいる学校が増えているので、適正な教育環境維持の観点も踏まえて全体構想の中で若い世代が戸田市に定住できるような整備を進めていく。 また、税収に関して、戸田市は今年度予算編成で過去最大の税収であった。しかし、人口が減少すると税収が減り都市が小さくなるため、人口を維持するためにも若い世代に訴えていけるようなまちづくりを進めたい。
委員	事務局で戸田市をどういう町にしたいのかが分からない。人口を増やすのか減らすのか。2,000 人の市民にアンケートをとるといったが、市民の感

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	じている戸田市と行政が考えている戸田市で、ずれがあるのではないかと。 具体的な回答にはならないが、立地適正化計画が今後の人口減少に対応するため、自治体における人口集約や都市機能を賑わいのある場所に誘導していくような計画であり、立地適正化の観点を踏まえて今回の都市マスタープランを考えていく。また、戸田市の最上位計画になっている第5次総合振興計画において、再来年度に開始する後期基本計画の中で目指すべきまちの姿について検討が進められている。これらの方針も踏まえて都市マスタープランにおける市民にとっての魅力的なまちづくりの方向性を次回提案する。
委員	1つ目に、第2次戸田市都市マスタープランの進捗具合や達成度合いはどの程度なのか。戸田市のWebサイトにある進行管理表で管理されていると思うが、現時点の都市マスタープランの評価に対する改善案を検討するプロセスがあるのか確認したい。 2つ目に、現状で整理されている戸田市の背景は足元を見ているように感じる。計画のターゲットである2046年の世界を想像するためにも、現在の生活様式、行動様式、価値観などを共通の背景として認識しておいた方が将来を考える上でいいと思う。 3つ目に、住民調査の回答者属性を知りたい。資料編P.47「将来的に関心があること」では子育てへの関心がない結果となっているが、都市マスタープランの中で示されている若者が多いという現状に反しているように感じる。
事務局	1つ目の進行管理の状況について、次回進捗率や主な事業を紹介し、その上で全体構成を示す。 2つ目について、20年後の戸田市が目指すビジョンを共有することは非常に重要だと思う。次回事務局から、まちづくりの基本理念や将来都市構造図

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	を提案する。 3 つ目の回答者属性について、「男性：43.6%、女性：55.4%」「10 代：1.6%、20 代：8.1%、30 代：12.4%、40 代：20.7%、50 代：20.5%、60 代：14.4%、70 代：13.9%、80 代：7.8%」であり、感覚的には戸田市の人口分布に比べて年齢層が高い回答者属性となっている。 統計学的にアンケート調査で 2,000 件実施した場合、回答者属性の偏りは生じないものとされている。本アンケートの回答数 36.6%は多い方であり、標本調査で全数調査と同等の結果が得られる件数を統計的に予測して 2,000 件のアンケート調査を実施している。
委員	まず、先ほどのアンケート結果で、駅前の満足度が高いというのは、どの駅を指しているのか。戸田市の 3 駅の満足度の内訳を教えてください。 もう一つ、マスタープランを作るにあたって、戸田市のブランディングについてどう考えているのか、根幹的なところを教えてください。
事務局	駅単位の内訳はわからないが、市としても開発が進んでいない駅の事業化を今後進めていきたいと考えている。整備済みの駅前の満足度が高いという認識。未整備の駅前は都市マスタープランの中で引き続き重点的に整備を進めいく方針を考えていきたい。 ブランディングについては、戸田市の最上位計画である第 5 次総合振興計画の中で『このまちで良かった』みんな輝く 未来共創のまち とだ」をキャッチフレーズとして掲げている。若年世代が住みやすい、定住ができる街や、水害等の被害の想定の高いところからハード的に改善し、生活基盤が整備された街を目指している。 次回、全体構想の将来都市構造図でまちの将来像を提示していきたい。
委員	戸田市は地域によって人口格差が激しい。人口を均等にしないと施設が集

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	まらないと思う。特に笹目地区はスーパー、医療機関も少ない。人口が偏っているのが原因ではないか。改善するための知恵や構想があるのか聞きたい。 指摘の通り、地域の特徴は異なっており、それらを市全体としてどのように調和がとれた形にしていくかは課題である。今後、各地域で地域別懇談会を予定しており、その中で現状を将来の目指すべき姿を整理していく。 公共交通機関、公共施設、民間事業者の利便施設、住居を含めてバランスをとるために、地区別にあるべき姿を検討していきたい。
委員	美女木・笹目地区の住工混在は昔からの課題であるが、市としては住工共存を目指していることに矛盾を感じる。美女木・笹目地区には自然豊かな土地があるので例えばチバリーヒルズのような住宅政策誘導や宅地開発等を検討してほしい。 ゴミステーションは町会住民同士の助け合いで維持しているが新規住民が町会に参加しなくなり、乱れた住環境となる。道路の整備と併せて新たな取り組みを検討してほしい。 道路や建物の温度を下げる等の地球温暖化対策に関する施策が進んでいないように感じる。都市マスタープランの中で位置付けてほしい。
事務局	美女木・笹目地区について、今後地域の方のご意見を伺いながら地域別構想の中で検討したい。 ゴミステーションについて、ソフト対策の所管である環境課と調整する。事例として、広告付きのゴミステーションがあり、町会の費用負担なしで設置できる。可動式の網がついており、ごみを荒らされにくいものである。その他に設置場所の改善等、関係部局を調整しながら検討したい。 地球温暖化について、グリーンインフラ等、関係部局と調整して検討したい。

発言者	議題・発言内容・決定事項
委員	西部地区で交通難の問題があるが、今後の交通整備についてどのように考えているのか。
事務局	西部地区の交通は課題として認識している。都市基盤を作る上で公共交通機関の主要な動線をどのように構築していくか、全体構想の中で示していきたい。
委員	確認になるが、第 2 次都市マスタープラン改定版の進捗は次回示していただけるのか。
事務局	次回、お示ししたい。
委員	上位関連計画との整合を図るとあるが、具体的な数値をそろえるのか。
事務局	総合振興計画は最上位計画なので、そちらを踏襲してハード整備の理念の整合を図る。戸田都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針については原則的には合致するように計画する。
委員	若い世代の居住を促すためにも、教育水準の向上、安全性の向上に力を入れてほしい。
委員	外国籍の人口増加および近隣の川口市からの流入の経緯を知りたい。
事務局	可能な限り調査して、次回、調査の結果を整理する。
委員	一つ目に、町会自治会の加入率の問題。戸田市は町会自治会に防災組織を連携させているが、この町会自治会の加入率が 50%を切っている。この背景に

発言者	議題・発言内容・決定事項
	はマンションの増加があり、マンション組合が町会に加入していない状況である。 町会組織と連動する問題を切り離すのかどうかを含めて議論していかなく てはならない。 また、外国人との共生について、西川口に隣接する地域では防犯上の問題に もなっている。コミュニティが特定の国に固まらないようにすることが大 切である。
事務局	課題としてはすごく重要な視点だと思うため、検討させていただく。
副委員長	外国人のコミュニティや、防災面での課題も次回以降議論できれば良いと 思う。 埼玉大学として美女木地区の交通安全対策に関わっている。住工混在エリ アには大型車も多いため、交通安全のケアもしていただきたい。 資料編 P. 46 の重要度について、重要かどうかの判断には注意していただき たい。領域 A、領域 B に入る項目について、「・・・、今後重要でない」と いう表現でまとめているが、いずれも「今後の重要度」の軸で 3.50 より高 い値となっており、取りまとめ方が適切ではないと感じる。 資料編 P. 47 「将来的に関心があること」は年代など回答者の状況で変わる ものなので結果の見方には注意していただきたい。 資料編 P. 52 で災害と犯罪がセットになっているが、これらは異なる大きな テーマのように感じる。セットにしている理由があれば教えてほしい。 資料編の構成について、「3 その他」とあるが、中身の項目はそれぞれ重 要な内容であるため、「その他」とするのはタイトルが不適切だと感じる。
事務局	次回、災害と犯罪は分けて整理し、本編の「現状と課題」と「基本方針」 において分類して示したい。「その他」については、重要な事項と考える ので資料編から本編の「現状と課題」の項目に移行したい。

発言者	議題・発言内容・決定事項
委員	背景から課題、改善案というフローで示していただけると分かりやすい計画になる。 資料編 P. 44「住民意向まとめ」で「浸水被害」とあるが、内水か外水かで対策が変わるので、分かるなら書くべきである。また「非常時の河川環境」が何を意味しているかが分からない。
事務局	「浸水被害」については内水と外水は区別していない。 「非常時の河川環境」は自由意見の内容かと思われる。アンケート調査結果を確認し、分かりやすい表現に整理する。
事務局	資料編の「3 その他」は第2次都市マスタープランで示されていた課題を記載している。都市マスタープランを読みやすいように、本編を短くするための措置であるが、分かりやすさに注意して資料の構成や表現を検討する。 また、現状の整理における外国人の観点については、先日の推進委員会の中で外国人が住みやすくなるための視点も必要であるという意見を受けて記載したものである。
事務局	<u>閉会</u> 次回の戸田市都市マスタープラン見直し検討委員会につきましては、11月から12月ごろに開催を予定しております。開催日時が決まり次第ご連絡させていただきます。今回は全体構想の都市づくりの目標、将来都市構造、都市づくりの方針についてお示しする予定となっておりますので、ご出席のほどよろしく願いいたします。 本日は皆様におかれましては、お忙しいところ御出席いただき、誠にありがとうございます。以上をもちまして、第1回戸田市都市マスタープラン見直し検討委員会を閉会いたします。

発言者	議題・発言内容・決定事項
	本日はどうもありがとうございました。